

令和7年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第1回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日 時	令和7年5月21日（水） 15時10分～16時30分	
研修内容	研究倫理について	
講 師	[①人社系] 東北大学 大学院文学研究科 原 塑 准教授（オンライン講演） [②医療系] 京都府立医科大学 伏木 信次 名誉教授（オンライン講演）	
場 所	常葉大学静岡草薙キャンパス A201 教室 静岡瀬名キャンパス 大会議室 静岡水落キャンパス 207 教室 浜松キャンパス 601 教室	
	※①人社系の場合、上記会場での参加またはオンライン参加 ②医療系の場合、オンライン参加	
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス	158人
	静岡瀬名キャンパス	21人
	静岡水落キャンパス	59人
	浜松キャンパス	118人
	合 計	356人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員も含む。

令和7年度第1回FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。

本年度第1回は「研究倫理」を研修内容として、人社系および医療系の2種類の講演を開催した。人社系においては東北大学大学院文学研究科の原塑准教授による講演、医療系においては京都府立医科大学の伏木信次名誉教授による講演を実施した。

人社系では「『研究不正』『研究費不正』および『盗用』の最近の動向」をテーマに、先ず「大学はなにをするところか」「大学の役割からみた研究不正」において研究者の社会的責任と研究の公共性を損なう要因についてお話があり、その後「研究費不正」及び「盗用」等の最近の動向を踏まえた事例紹介とともに、その注意点と対処法についてお話があった。

医療系では「医療系における公正・誠実な研究(RESEARCH INTEGRITY)を考える」をテーマに、主に臨床研究・試験における研究不正事例の紹介と、臨床研究・試験の不正が及ぼす影響や研究評価のあり方の改善等が臨床研究・試験の質の担保と有益性の向上に寄与する等のお話があった。

研究推進において、大学が社会的責任を果たし信頼性や透明性を確保することが重要であり、研究不正事例などから、研究倫理の重要性を再認識する機会となった。今後も、研究倫理研修を継続し、最新の動向や知識等の共有を推進することで、教職員個々における「研究倫理」の知識・認識の向上および醸成を図っていく。